

ビジネスの
成長に合わせて

ソフトウェアを 進化させ続ける秘訣

2021/10/22

株式会社ソニックガーデン 遠藤 大介
株式会社ベリサーブ 松木 晋祐

遠藤 大介 えんどう ひろかつ

株式会社ソニックガーデン 所属

2013年入社、執行役員 / プログラマ

「納品のない受託開発」でお客様と
二人三脚でシステム開発を行いつつ、
社内インフラ基盤の整備や改善に注力

小学校の頃からプログラミング三昧で、
趣味もプログラミング
ゲームとロードバイクも好き



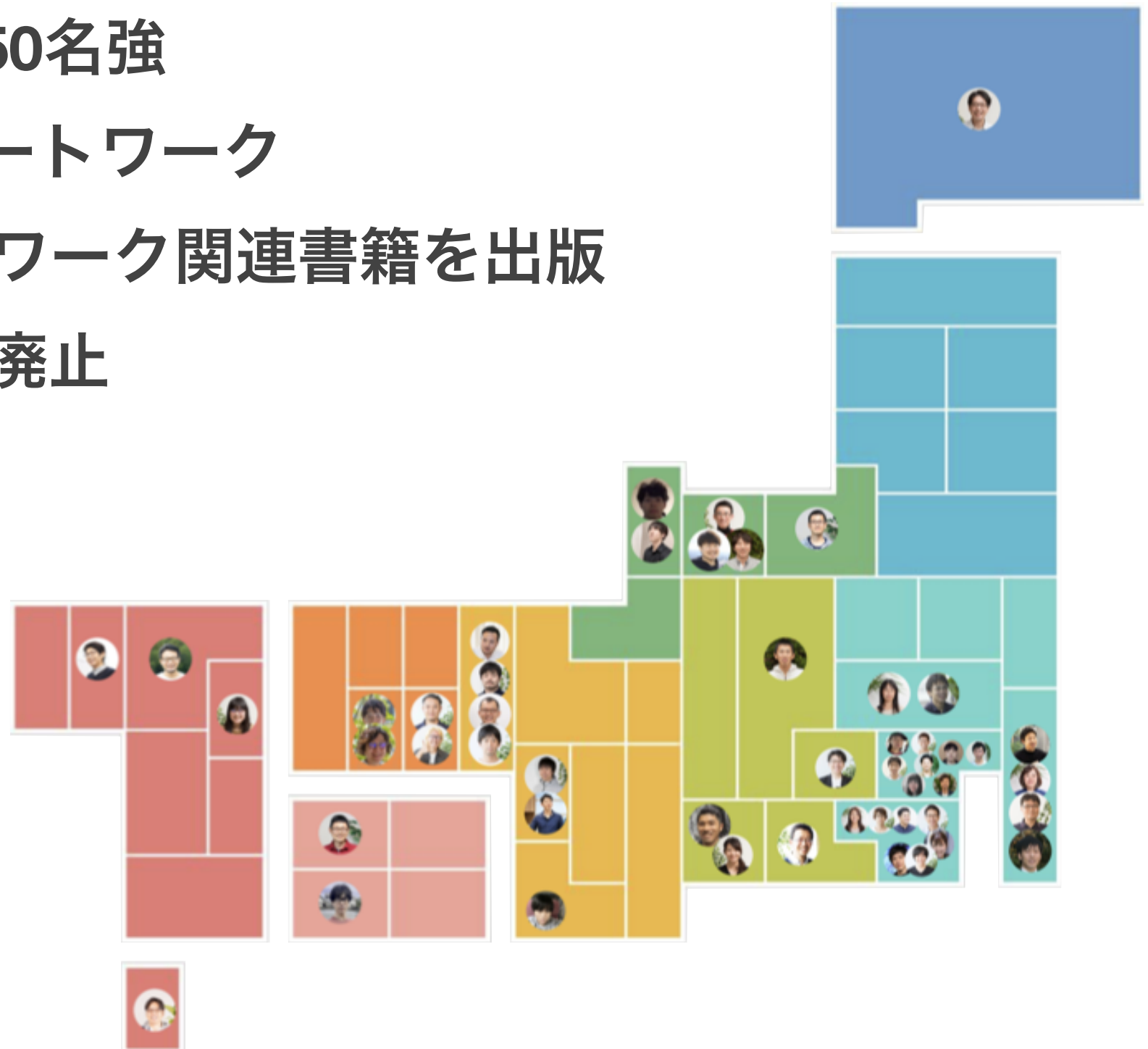
株式会社ソニックガーデン

社員は日本全国に50名強

創業当初からリモートワーク

2015年にリモートワーク関連書籍を出版

2016年、オフィス廃止



納品のない受託開発

まるで優秀な内製チーム、しかもマネジメント不要
月額定額の顧問形式で、事業の成長を支え続けます



新規事業を
立ち上げたい



既存システムに
課題がある



基幹業務を
システム化したい



業務改善で
効率化を図りたい

松木 晋祐 まつき しんすけ

株式会社ベリサーブ 所属

2015年入社 研究企画開発部長/QAエンジニア

株式会社AIQVE ONE 技術顧問

ソフトウェア品質技術に関するツール開発、
技術推進、技術研究を推進する部門のお世話係
独立系ソフトウェアベンダにてテストオペレー
タから 品証統括まで、ソフトウェア品質保証
にまつわるあり とあらゆるロールを経験後、
ベリサーブにJOIN

ゲームと小さいパソコンが好き



このセッションの内容

- ▶ 最近のソフトウェア開発の潮流
- ▶ ソフトウェアを進化させ続けるためのコツ

上記2点をプロダクトオーナーとプログラマの
それぞれの視点を交えてお話します

昨今のソフトウェア 開発の潮流

要件定義して作って終わり
ではなく、 **ビジネスの成長に
合わせて**進化・改善させ続ける
ことが大切になってきた

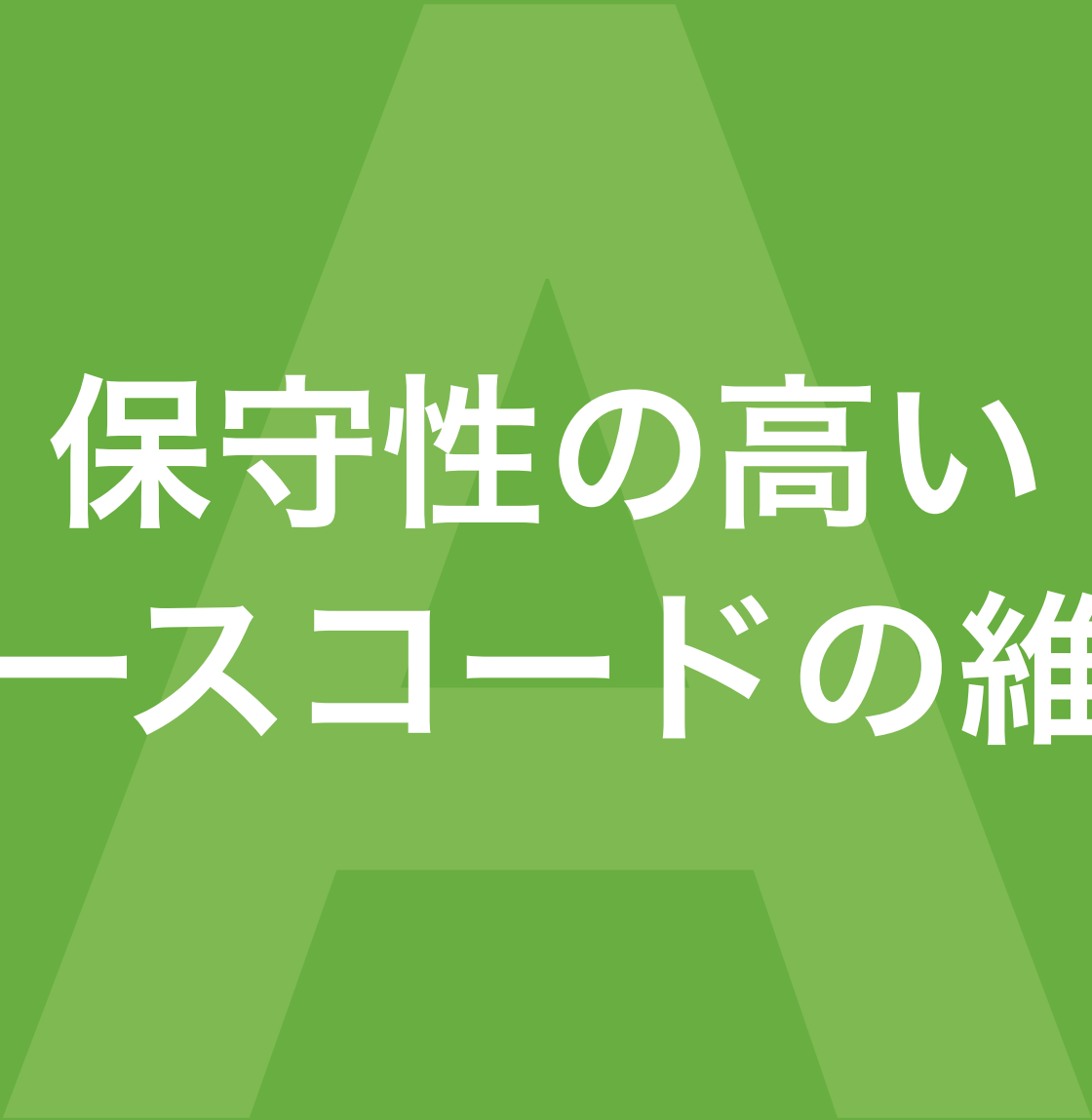
たえず変わる市場環境や
ユーザーからの反応を元に、
柔軟に対応しないといけない

そのためには
既存機能の修正や
新規機能の追加や
不要機能の削除などが
必要になってくる

つまり、ソースコードに
追加・修正・削除の全てを
行う必要が出てくる

他にも脆弱性修正などで
フレームワークのバージョン
アップなども必要不可欠

柔軟に対応するために
何が必要だろうか？



保守性の高い
ソースコードの維持

仮にテストは完璧だが
実装がスパゲッティコードな
機能が存在していると...

そのコードに関する
修正には大変な労力が
必要となる

場合によっては触ると
バグが出るから触れるなと
なってしまうかもしれない



触るのが
怖い...

そういった部分が増えたと
リプレースした方が良い
といった判断になる
場合もでてくる

ただソフトウェアの
改善を行いたいだけなのに
それが難しいという苦痛

どうすれば
そういった状況を
防げるんだろうか？

そもそもを
追求して

徹底的に
無駄や矛盾を削って
プロダクトを作っていく

色々な要望を
満たそうとすると自然と
仕様は膨れ上がっていく

これもあった方が**良いはず**
あれもあった方が**便利はず**

仕様が膨れ上がると
実装もテストも大変になる



保守も大変

いかに**不要なものを削る**かが
大切になってくる

プロダクトの仕様について
POとプログラマ両方の視点から
適切さと複雑さのギリギリの
ポイントを探す必要がある

絶えず

ユーザ価値的に必要なことが
実現できているのかどうか

ソフトウェア的に負債を
抱えてしまわないかどうか

それをPOとプログラマで
徹底的に対話を繰り返すことが
とても大切

どうやったら
本当に必要なものを
見極めていけるんだろう？

プロトタイピングを
繰り返して見極めていく

最初はPOとプログラマで
そのプロダクトの**本質的な**
機能がなにかを徹底的に
議論して仮説を立てる



正解は誰も
わからない

次にその本質的な機能を
最低限使うことのできる
試作品を短期間で作る

あったら便利系の
ものは後回し

その試作品をチームや顧客と
共に**実際に使ってみて**
フィードバックを出し合う

ソフトウェア的に
どうなのか

ユーザ要件的に
どうなのか

それを踏まえて仕様や実装を
見直し、負債になるものを
極力残さないことがとても大事

本当に必要なものが
複雑怪奇な場合もある

機能を盛るよりも
削る方が遥かに難しい

徹底的に
議論を尽くそう

プロダクトの本質を
追求して磨き続けると
自然とソースコードなども
メンテナンスしやすくなっていく

大切なのはPOの視点と
プログラマの視点の両方で
違和感のない形を
探し続けること

それこそがソフトウェアを
進化させ続ける**秘訣**とを感じる

ご清聴

ありがとうございました！